

環境活動レポート

2020年度

(対象期間 2019年10月1日～2020年 9月30日)

2020年12月31日(発行)
2020年 2月28日(改定)
株式会社 大川商会

目 次

	ページ
1 ご挨拶	3
2 会社概要	4
3 実施体制	5
4 沿 革	6
5 環境方針	7
6 中期環境目標の設定	8
7 環境活動取組み内容	9
8 環境活動取組み結果と評価	12
9 次年度の取組	14
10 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	15
11 代表者による全体評価と見直しの結果	16
12 お問い合わせ・地図	17

1. ご挨拶

近年は、地球温暖化、資源の枯渇、環境汚染などの環境問題がますますクローズアップされ、社会全体の環境に対する意識が非常に高まっています。弊社も、ISO9001認証企業として、品質方針に「防災ビジネスを通じて、地球環境の維持改善に努め、地域社会に貢献する」と謳い、環境問題を意識して業務を進めてまいりました。しかし、環境問題については、より身近なところから、より積極的に実行すべきと考え、平成18年2月からエコアクション21に取り組んでいます。社員一人ひとりがエコマインドを持ち、住みよい社会、循環型社会の実現に微力ながら貢献できることを願っています。

このレポートで環境に対するささやかな取り組みをご紹介させていただくことで弊社の環境活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 大川商会
代表取締役 大川 賢也

2. 会社概要

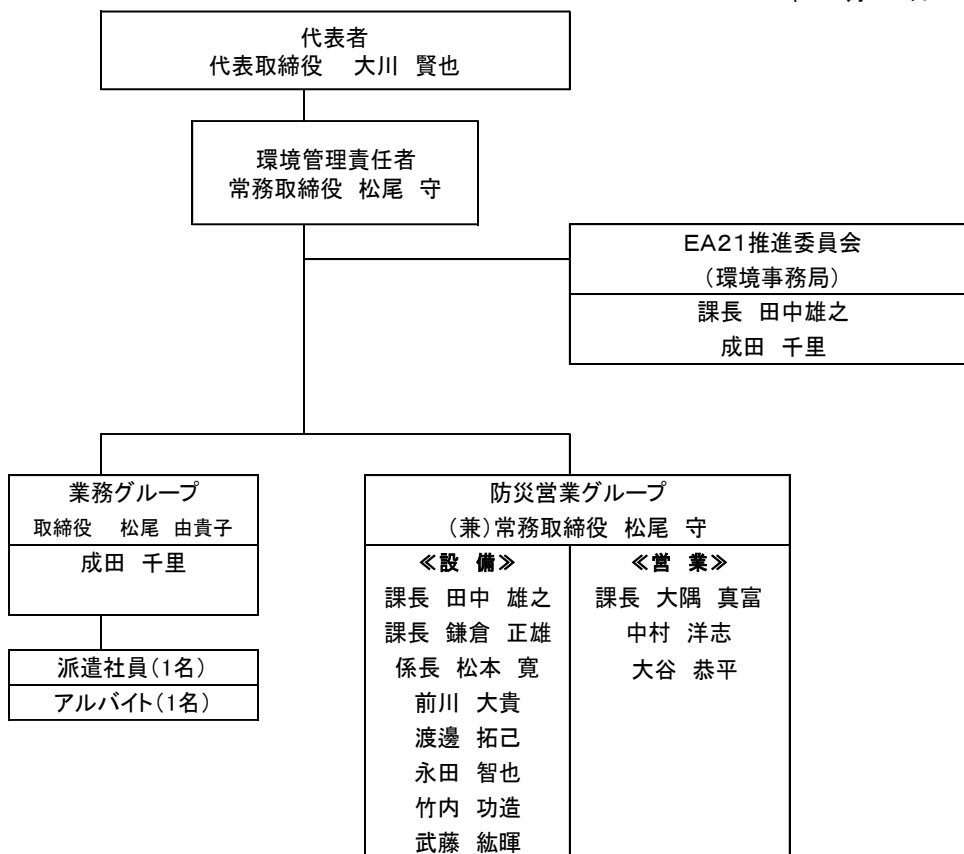
項目	内容	
社名	株式会社 大川商会	
代表者	代表取締役 大川 賢也	
資本金	1,000 万円	
所在地	〒451-0025 愛知県名古屋市西区上名古屋2丁目23番10号	
事業規模	売上高	535 百万円 (2020年9月期)
	従業員数	15 名 (2019年9月現在)
	社屋	2階建 床面積 400 m ²
エコアクション21 範囲	事業活動	防災設備・機材の販売、設計・施工・保守点検業務
	組織	本社(全組織)
環境担当	環境責任者 常務取締役 松尾 守	
	担当者 設備課 田中 雄之	
	Tel 052-532-1231 e-mail : tanaka@okawa-shokai.jp	

3. 実施体制

《要求事項6. 実施体制の構築》

株式会社大川商会 実施体制図及び役割・責任・権限表

2020年 10月 22日



役割・責任・権限	
代表者(代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境目標・環境活動計画書を承認 環境活動レポートの承認 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動レポートの確認 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
課長・課長代理	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 沿革

年 月	内 容
1967年 8月	消火器、防災機器の専門商社、個人企業「大川商会」として創業
1968年 12月	株式会社「大川商会」に改組
1976年 10月	消防設備の点検業務を開始
2000年 12月	点検業務についてISO9002取得
2002年 2月	同、ISO9001／2000取得
2006年 2月	エコアクション21 取得
2017年 11月	ISO 9001： 2015年版に移行

5. 環境方針

- 1 当社は、企業活動(消防用設備メンテナンス・改修工事及び消防用品販売における旧機器回収)が環境に与える影響を正しく認識し、環境目標を定めて、社員全員で継続的な環境改善に取り組めます。
- 2 環境保全活動を推進するため、環境活動評価プログラムに積極的に参加し、これを運用・維持することを確実にします。
- 3 環境に関する法律、規制、協定および組織が定める外部からの要求事項を遵守し、環境保全レベルの向上を図ります。
- 4 全ての企業活動において、省エネルギーの推進、廃棄物の削減と再利用、汚染の予防に務めます。
- 5 グリーン購入を推進し、グリーン製品の提供に努めます。
- 6 全社員に対し、環境方針を周知徹底し、環境保全に対する意識向上を図ります。

令和2年 2月 29日(改訂)
株式会社大川商会
代表取締役社長

大川 賢也

6. 中期環境目標の設定

環境目標項目	中期の環境目標 (2022年度まで)	単位	基準値 (基準年)	2020年度 (2019.10-2020.9)	2021年度 (2020.10-2021.9)	2022年度 (2021.10-2020.9)
1-① 事務所内の 二酸化炭素 排出量削減	これまでの永年の削減取組の結果、これ以上の削減は業務に支障をきたすおそれもあり、中期目標はH26年度～H28年度の3年の平均値以下とします。	kg-CO ₂	9,088 (H26～H28平均)	9,088 (基準値以下)	9,088 (基準値以下)	9,088 (基準値以下)
1-② 業務用車両の 二酸化炭素 排出量削減	業務量に伴い車両の使用頻度が変動する為、基準値および目標値を走行距離当たり二酸化炭素の排出量の管理項目へ変更し取組を継続します。	kg-CO ₂ /千km	227.4 (H25年度実績)	227.4 (基準値以下)	227.4 (基準値以下)	227.4 (基準値以下)
2 上水の節水	生活用水のみの少量使用のため、中期目標は一人当たり上水使用量を管理項目としてH31年度まで基準値以下とします。	m ³ /人	7.0 (H26～H28平均)	7.0 (基準値以下)	7.0 (基準値以下)	7.0 (基準値以下)
3 廃棄物排出 量の削減	① 一般廃棄物排出 量の削減	kg	814 (H28年度実績)	798 (2%削減)	798 (2%削減)	798 (2%削減)
	② 産業廃棄物排出 量の削減	kg	17,000 (H28年度実績)	16,660 (2%削減)	16,660 (2%削減)	16,660 (2%削減)
4 販売商品の 環境配慮と リサイクル推 進	① エコマーク認定消 火器の販売促進	本	4,176 (H28年度実績)	4,260 (2%増加)	4,260 (2%増加)	4,260 (2%増加)
	② 顧客使用消火器の 回収促進とリサイ クル	本	2,943 (H28年度実績)	3,002 (2%増加)	3,002 (2%増加)	3,002 (2%増加)
5 グリーン購入	事務用品のグリーン 購入	件	17	20	20	20
			(H28年度実績)	(20%増加)	(20%増加)	(20%増加)

注 1. 化学物質の使用はありません。

2. 購入電力のCO₂排出係数は、0.473を使用。(実排出係数は中部電力のH22年を使用)
 今後は調整後の排出係数(負荷の自己チェックに記載値)を使用する。

7. 環境活動取組み内容

1. 二酸化炭素排出量削減

1) 事務所内(冷暖房、照明、OA機器、都市ガス)の二酸化炭素排出量削減

エネルギーの種類	用途	現状の問題点	活動取組内容
電力	空調	夏季の冷房設定温度が低い。使用時間が長い	①設定温度を定める。→ 28度 夜は使用を20時までとする。
	照明	休憩時間に消灯していない。必要以上の光源については削減	②「省エネラベル」を改善(表示を大きく)し、貼り直してお互いに注意しあう。
	OA機器	未使用時も電源が入っている	③休憩時間や使用していないOA機器は電源を切る。
灯油	冬季暖房	冬季の暖房設定温度が高い。使用時間が長い	①設定温度 → 20度 夜は使用を20時までとする。
都市ガス	給湯	特に問題点は無い。	①現状維持

「省エネラベル」の改善(表示を大きく)



LED蛍光灯の削減(本数) 駐車場、倉庫 必要以上の光源場所



2) 業務用車両の二酸化炭素排出量削減

エネルギーの種類	用途	現状の問題点	活動取組内容
ガソリン	業務用	荷室に不必要な荷物を積みっぱなしにしているため、燃費がわるくなっている。	①車両点検の徹底
			②エコドライブの意識向上(急加速・急発進の自粛)
			③車内の整理整頓
④効率的な運行計画の策定			
	低燃費車を導入	①車の更新時は、低公害車や低燃費車を導入	
	全ての現場で車を利用する	①公共交通機関の利用促進	
②自転車通勤の奨励(通勤手当支給)			

「エコドライブ10のすすめ」を車内に常備し意識向上を図る。



2. 上水の節水

・節水意識の啓発と実践の徹底。

上水使用の蛇口に「節水ラベル」を貼り付けてお互いに注意しあう。



3. 廃棄物排出量の削減

- ・資源、廃棄物分別一覧表による分別の徹底
- ・再資源化の推進

分別ボックスの設置
【写真貼付欄】



資源、廃棄物分別一覧表

資源	資源の別	資源の別	資源の別
紙類	紙類	紙類	紙類
プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチック
ガラス	ガラス	ガラス	ガラス
金属	金属	金属	金属
その他	その他	その他	その他

EA21事務局

整理整頓区割りとチェック表



4. 販売商品の環境配慮とリサイクル推進

- 1) エコマーク認定消火器の販売促進
- 2) 顧客使用済消火器の回収促進とリサイクル

メーカー返却用回収消火器



消火器内の回収薬剤
(放射試験回収薬剤)



リサイクル回収依頼時の
安全処置方法表示
(小型充電式電池)



エコマーク認定消火器の販売促進



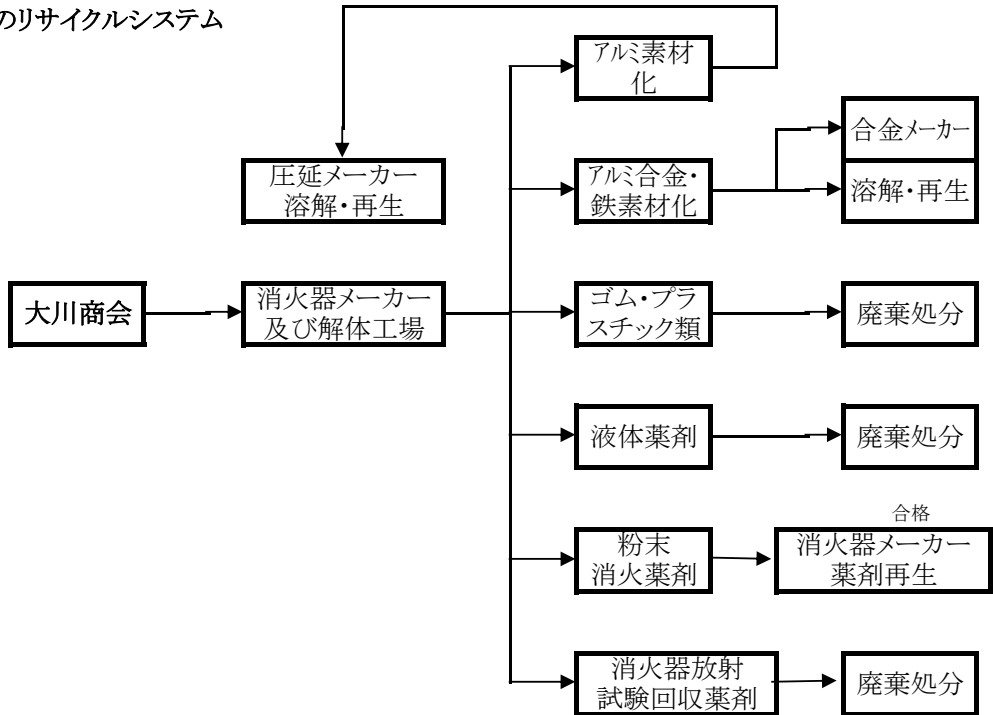
《保守点検サービスの啓蒙》
 各種消火設備、避難・警報設備の法定保守点検
 各種消火設備、避難・警報設備の修理補修
 消火薬剤の詰替え、廃棄処理



環境にやさしい中性強化液消火器による消火訓練の提案と実施



アルミ製消火器のリサイクルシステム



8. 環境活動取組結果と評価

1. 二酸化炭素排出量削減

1) 事務所内(冷暖房、照明、OA機器、都市ガス)の二酸化炭素排出量削減

項目	CO ₂ 排出量(事務所内)				
	2020年度目標			2020年度実績	
	単位	2014～2016の平均を基準とする		使用量	排出量 (単位:kg-CO ₂)
電力従量	kWh			11,737	5,552
電力低圧				8,859	4,190
灯油	L			388	967
都市ガス	m ³			32	67
CO ₂ 排出量計	kg-CO ₂	—	9,088	—	10,773
達成率・評価	%				84.4% ×

注) 評価基準: 達成度による ○: 100%以上、△: 90%以上～100%未満、×90%未満
(達成率 計算式: 削減目標 = 目標/実績、増加目標=その逆数 以下、同基準による。)

取組結果と評価

19時退社の残業時間短縮を目指したが、一部社員に集中した業務が多く目標には届いていない。今後については働き方改革を行い残業削減を目指す。当社の電力・灯油については、年間の気温変化により、左右されることが多いため、基準値の見直しも含め検討を行う。

2) 業務用車両の二酸化炭素排出量削減

項目	CO ₂ 排出量(社外(業務用車))				
	2020年度目標(=基準値(H25年度)以下)			2020年度実績	
	単位	使用量 走行距離	排出量 (単位:kg-CO ₂)	使用量 走行距離	排出量 (単位:kg-CO ₂)
ガソリン	L	19,390	45,017	17,618	40,873
全走行距離	km	197,990	—	197,336	—
CO ₂ 排出量 /走行距離	kg-CO ₂ /千km	—	227.4	—	207.1
達成率・評価	%				109.7% ○

CO ₂ 総排出量	kg-CO ₂	(①+②)	—		51,646
----------------------	--------------------	-------	---	--	--------

取組結果と評価

エコドライブ10を全車に常備実施。長距離の軽自動車、短距離への普通車使用と効率が悪い使用方法が目立つ。同一方向への複数営業による事が多い為、全体としての話し合いがされていない。エコドライブのさらなる実施により当たりの走行距離アップにつなげる。

2. 上水の使用削減

項目	単位	上水使用量		
		基準値 (2014-2016平均)	2020年度 目標	2020年度 実績
上水	m ³	139	—	136
人員	人	20.0	—	17.0
使用量 /1人あたり	m ³ /人	7.0	7.0	8.0
達成率・評価	%			87.5% ×

取組結果と評価

今夏の猛暑により、シャワーの使用頻度が大幅に増加しており、節水の徹底に追いついていない、上水の使用は洗濯、シャワー、トイレに限られている為、今後の基準値の見直しも必要と思われる。

3. 廃棄物排出量の削減

項目	単位	廃棄物排出量		
		基準値 (2016年度実績)	2020年度 目標	2020年度 実績
一般廃棄物	kg	814	796	419
達成率・評価	%	—	—	190% ○
産業廃棄物	kg	17,000	16,660	2,843
達成率・評価	%	—	—	586% ○

取組結果と評価

結果だけ見ると排出量の大幅削減となっているが、年間通しての設備機器の取替、工事の受注内容により排出量の変動幅がかなり大きい。だが社員の努力結果によるところもあり、今後も廃棄物の分別、リサイクル、削減努力を継続していく。

4. 販売商品の環境配慮とリサイクル推進

- 1) エコマーク認定消火器の販売促進
- 2) 顧客使用済消火器の回収促進とリサイクル

項目	単位	廃棄物排出量		
		基準値 (2016年度実績)	2020年度 目標	2020年度 実績
エコマーク商品	本	4,176	4,260	8,630
達成率・評価	%			49.4% ○
顧客消火器回収	本	2,943	3,002	8,917
達成率・評価	%			33.7% ○

取組結果と評価

設置後10年超過の消火器が多く、又10年超の消火器は交換が必要との顧客の認識は高まってきており、アルミ消火器の普及とともに目標を大きく達成できた。昨今、エコマーク付消火器が主流になっているのも要因の一つである。

5. グリーン購入

項目	単位	廃棄物排出量		
		基準値 (2016年度実績)	2020年度 目標	2020年度 実績
事務用品の グリーン購入	件	17	20	20
達成率・評価	%			100% ○

取組結果と評価

使用済みコピー用紙の裏側白紙を、社内用紙として再使用。事務用品の常備を控え、最低減の購入を目指した。

9. 次年度の取組

2021年度は、下記目標・事項に取り組みます。

項目	環境目標項目	基準値	2021年度目標 (2020.10-2021.9)	2021年度の取組み
二酸化炭素排出量	事務所内の二酸化炭素排出量削減	9,088kg-CO ₂ (H26~H28平均)	9,088kg-CO ₂ (基準値以下)	・エアコン使用時間の制限(残業時間の削減)
	業務用車両の二酸化炭素排出量削減	227.4kg-CO ₂ /千km (H25年度実績)	227.4kg-CO ₂ /千km (基準値以下)	・車両の整備(オイル交換、タイヤ交換) ・社内装備品の軽減 ・客先訪問の地域別の見直し
総排水量	上水の節水	7.0m ³ /人 (H26~H28平均)	7.0m ³ /人 (基準値以下)	・使用場所(用途)に応じて節水の意識の再確認
廃棄物の削減	一般廃棄物排出量の削減	812kg (H28年度実績)	※400kg 変更(前年実績基準)	・分別場所の整理整頓 ・分別徹底による再資源化
	産業廃棄物排出量の削減	17,000kg (H28年度実績)	※2,500kg 変更(前年実績基準)	・分別場所の整理整頓
進	エコマーク認定消火器の販売促進	4,176本 (H28年度実績)	※8,000本 変更(前年実績基準)	・エコマーク認定消火器の積極的啓発活動
	顧客使用済消火器の回収と再資源化	2,943本 (H28年度実績)	※8,000本 変更(前年実績基準)	・顧客消火器の回収 ・顧客消火器の更新計画に沿った営業活動展開
グ	事務用品のグリーン購入	17件 (H28年度実績)	20件 (20%増加)	・エコマーク商品の登録(紙類、文具類、作業手袋、災害備蓄用品、照明、消火器等)

※中間審査により、中期目標を見直した。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

I. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

1. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

同上 施行規則

愛知県条例 県民の生活環境の保全等に関する条例

名古屋市条例 名古屋市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例

名古屋市条例 名古屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例

名古屋市条例 名古屋市空き缶等の散乱の防止に関する条例

要求事項 廃棄物の適正処理、発生抑制、再資源化推進、再利用、廃棄物保管場所の設置と看板掲示
適正業者との契約、管理表(マニフェスト)の発行と保存、管理表交付状況報告書の提出
適正処理の情報提供、及び国・県・市の施策への協力

2. 労働安全衛生法

要求事項 化学物質等の有害性等の調査及び健康障害防止措置

化学物質の掲示、備付け及び周知

指定化学物質等の譲渡時、性状及び取扱情報の提供義務(SDSの提供)

3. 高圧ガス保安法

要求事項 高圧ガスの製造、貯蔵、移動、消費時の取扱規制基準の順守

4. 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律

名古屋市条例 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例

要求事項 特定物質の排出の抑制及び使用の合理化

オゾン層破壊物質の適正な回収・処理と、排出防止

5. 愛知県条例 県民の生活環境保全等に関する条例

名古屋市条例 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例

要求事項 自動車の駐停車時、従業員へ原動機を停止するよう指導

駐車場内において自動車の原動機を停止すべきことを周知するための措置

アイドリングストップの励行

6. フロン排出抑制法

要求事項 空調機器等の適正設置、フロン類のみだり放出禁止、定期・簡易点検・記録の保存

7. 取引先様からのグリーン調達ガイドライン

要求事項 環境管理システムの構築

順守状況 上記法律・条例に関し、全て順守しています。

II. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反は有りません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間有りません。

遵守評価日 2020年11月2日

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

・環境経営方針

弊社は環境保全、また継続的な環境改善に対し、常に最善でなければならないと考えています。活動状況を見る限り、保全は行っているが、それに対しての改善取組みがされていないように感じる。今後はエコアクション担当者が全社員を巻き込み、保全→改善が常に回るように取組んでほしい。

・環境経営目標・計画

毎年、景気や取引先企業の経営状況により弊社の受注内容にもかなりの幅(増減)がある。そんな中、中期目標を変更することがなかったが、今後は中期目標の数値に対し都度修正を行い、その年の最善に向け取組まなければならない。方針の内容と重複するが、今後は改善に力を入れ社会に貢献する会社組織を構築してほしい。

今期は前期と比べ、会社内(事務所)でのCo2排出量、上水の使用量が目標に達成していなかった。来期は社内の節電、節水をメインテーマとし、必ず目標値をクリアする。

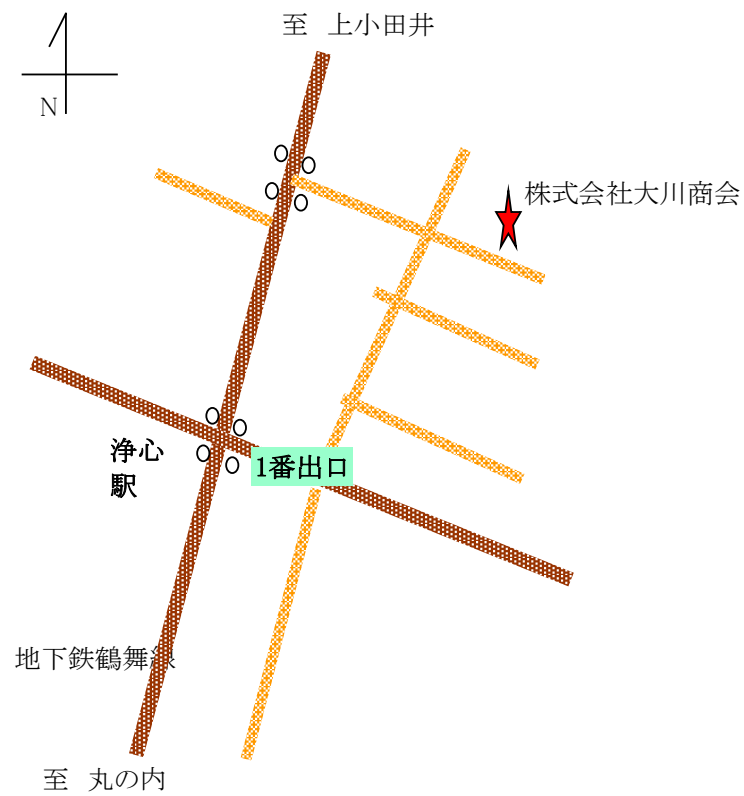
・実施体制

2020年度はエコアクション前任担当者が突然の退社などがあり、引継ぎもままならぬまま活動する状況でした。しかし、今までの資料管理、社員全体への展開が実施されておれば、このように慌てる事もなかったのではないかと、いかにエコアクション担当者に任せっきりで、社員全員がエコアクションに対し無関心だったのかを露呈した結果となりました。

今回を一つのきっかけとし、エコアクションは会社全体で取り組む重要活動と社員全員が認識し、取り組んでいく事を期待します。また今回の作成資料が不完全で過去実績と比較、検討するには乏しい内容でしたが、今回の資料を再度精査し、弊社の今後の基準とする。また今後は私も含め会社全体でPDCAを回し、より良い組織、活動が実施できるよう取り組む所存です。

令和2年11月2日 大川 賢也

12. お問い合わせ・地図



地下鉄 鶴舞線 「浄心」1番出口より北へ100m、最初の信号を右折、50m先左側

〒451-0025 名古屋市西区上名古屋2丁目23番10号
TEL 052-532-1231
FAX 052-532-1339
URL <http://www.okawa-shokai.jp>